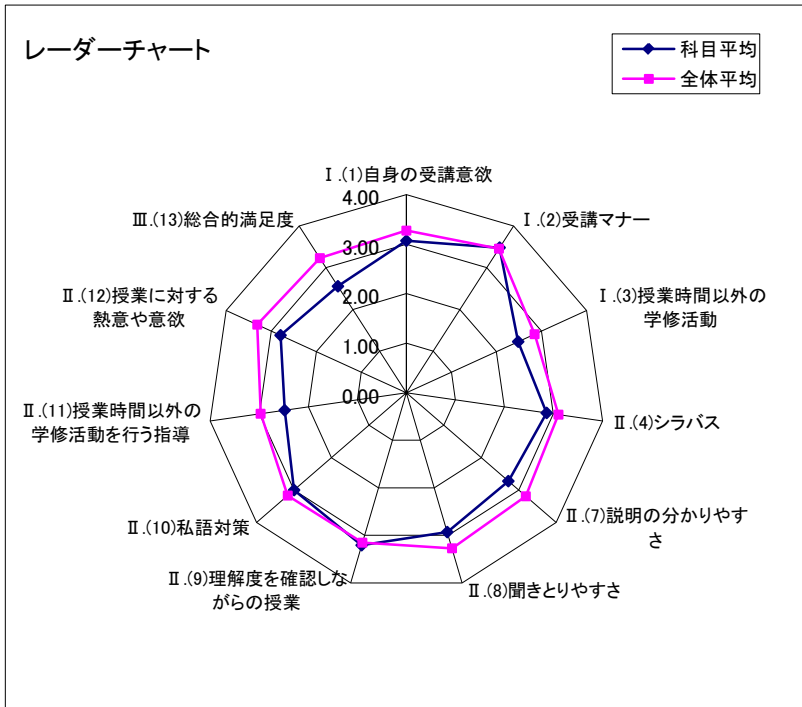
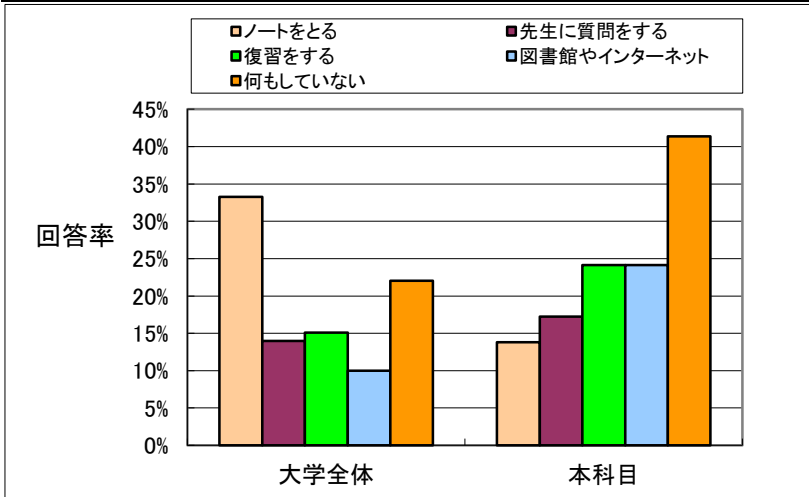


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

＜※複数選択可項目＞	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	0.14	0.17	0.24	0.24	0.41



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.07	3.27
	I.(2)	3.48	3.46
	I.(3)	2.48	2.85
講義内容・方法	II.(4)	2.86	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	2.72	3.19
	II.(8)	2.93	3.27
	II.(9)	3.21	3.15
	II.(10)	3.00	3.17
	II.(11)	2.48	2.97
	II.(12)	2.79	3.31
	総合評価	III.(13)	2.56

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.01	3.19
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	2.86	3.17
II.(4)~(12)		
総合評価	2.56	3.23
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	2360
科目名	プログラミング入門・プログラミング基礎
教員名	

①授業計画の達成度について
 HTML, C, JAVAなどの学習を通じてプログラミングについて入門の役割を果たしていくための科目であるが、HTMLでは、HTMLタグの基本的な使い方、CSSの設定法などは扱えたが、JavaScriptを扱えなかった。C言語については、当初の予定通り、繰り返しや条件分岐を用いた簡単なプログラムの作成まで行うことができた。JAVAについては、オブジェクト指向言語の代表として隠蔽、継承の簡単な実例について扱った。全体としては、7割程度の達成率であった。

②授業の進め方について
 授業の前三分の一は、パワーポイントを用いた事項説明やを行った。残りの時間は、あらかじめ導入しておいた各言語の実行環境上で、プリントに印刷したプログラムのソースをもとに、プログラミングを行った。また、打ち込んだプログラムの改変を演習形式で出題し、プログラムのソースの記述と実行結果の対応の理解・定着を図った。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 おおむねどの項目も、全体平均に比べて悪い数値となっている。演習中心の授業科目で履修者が40名近くと多かったのにTAを用意しなかったため、進度の遅い学生に合わせるためしばしば授業を中断したため、特にやる気のある学生の意欲をそぐ結果となってしまったことが大きな原因と思われる。TAの配置を適宜求めていくこととしたい。